

公開セミナー

ワクワクをデザインする

【日時】 2020年2月12日(水) 14:00-16:00 (開場13:30)

事前登録制

【会場】 東京大学本郷キャンパス

入場無料

情報学環・ダイワユビキタス学術研究館 石橋信夫記念ホール

【主催】 東京大学公共政策大学院 寄付講座「都市地域政策と社会資本マネジメント」

開催趣旨

社会学者レイ・オルテンバーグは、地域において人々が自由に集い、くつろぎながら過ごせるインフォーマルな空間＝「とびきり居心地良い場所 (Great Good Place)」の重要性を唱え、そうした空間を自宅でも職場や学校でもない第三の場所＝サードプレイスと名付けた。

どのような空間が「居心地良い場所」なのかということを知悉しているのは、その空間の使い手である地域住民にほかならない。しかし、地域住民が「居心地良い場所」について抱いている潜在的な「思い」を引き出し、それを具体的に現実に落とし込んでいくことは必ずしも容易なことではない。

そこで本セミナーでは、2018年度グッドデザイン賞において特別賞を受賞した「喫茶ランドリー」と「ミズベリング・プロジェクト」という2つのプロジェクトを通じて、市民が我が事としてその「思い」を楽しみながら具現化していくためには何が必要なのかということについて、議論を深めていきたい。

※本セミナーは、寄付講座「都市地域政策と社会資本マネジメント(三井不動産)」の研究・交流活動の一環として行われます。

プログラム

【司会進行】 特任教授 辻田昌弘

14:00-14:30

『能動性のデザイン — 喫茶ランドリー』

田中元子氏 (株)グランドレベル代表取締役社長

14:30-15:00

『巻き込みのデザイン — ミズベリング・プロジェクト』

岩本唯史氏 (株)水辺総研代表取締役/ミズベリングプロジェクトディレクター

15:00-16:00

ディスカッション

お申し込み先

<https://mfec.jp/>

講演者プロフィール



田中元子 氏（たなか もとこ）

株式会社グランドレベル代表取締役。1975年生まれ。独学で建築を学び、2004年大西正紀とクリエイティブユニットmosakiを共同設立。2010年よりワークショップ「けんちく体操」に参加。2016年「1階づくりはまちづくり」をモットーに「人・まち・日常」をアクティブにする株式会社グランドレベルを設立。2018年「喫茶ランドリー」をオープンし、同年グッドデザイン特別賞グッドフォーカス〔地域社会デザイン〕賞を受賞。主な著書に『マイパブリックとグランドレベル—今日からはじめるまちづくり』（2018 | 晶文社）ほか。



岩本唯史 氏（いわもと ただし）

ミズベリングプロジェクトディレクター／(株)水辺総研代表取締役／水辺荘共同発起人／建築設計事務所RaasDESIGN主宰／建築家。一級建築士。国交省のミズベリングプロジェクトのディレクターを務めるほか、全国の水辺の魅力を創出する活動を行い、和歌山市、墨田区、鉄道事業者の開発案件の水辺、エリアマネジメント組織などの水辺利活用のコンサルテーションなどを行う。横浜の水辺を使いこなすための会員組織、「水辺荘」の共同設立者。東京建築士会これからの建築士賞受賞（2017）、まちなか広場賞奨励賞（2017）、グッドデザイン賞金賞（ミズベリング、2018）。

会場案内図

